

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2073200178		
法人名	特定非営利活動法人小布施町シニアの会		
事業所名	ヒューマンヘリテージ小布施		
所在地	長野県上高井郡小布施町北岡松葉344番地		
自己評価作成日	令和 5年 7月 9日	評価結果市町村受理日	令和 5年 8月 25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigoyosyoCd=2073200178-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 5年 7月 25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日々の暮らしの中、一人ひとりが安全に、その人らしく過ごし、喜びや満足感、幸福感を感じることができるよう、スタッフが家族の一員になったつもりで寄り添った支援をしている。利用者の人格を尊重し、不安や孤独感を和らげ、常に利用者の立場に立ってサービスを提供するよう努めている。感染症対策を徹底しながら、出来るレクをソーシャルディスタンスを保ちながら工夫して行っていた。小布施のホームは、利用者のコロナ感染者は0を保っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

小布施町北岡地区の周りを閑静な住宅街や町特産の「栗の木畑」に囲まれた中に当ホームがある。開設から19年目を迎え、「利用者様、ご家族様との関係を大切に、助け合うという心、『共助の心』を持って…」という法人理念を支援の柱とし、家庭的な雰囲気を大切にしつつホームの独自理念にあるように職員は10人目の家族となって優しく寄り添い支援に当たっている。新型コロナ禍が長く続き制約を受けながらの活動が続いてきたが、最も力を入れ取り組んできたことは、職員がコロナをホーム内に持ち込むことなく利用者に安心して日々の生活を送っていただくようにしてきたことであるという。職員は予防対策として出勤時の手指の消毒、朝の健康チェック、常時2重マスクの使用、利用者の介護中にはフェイスシールドとグローブを使用する等、徹底した感染対策を続けた。その結果、利用者、職員共に、1名の感染者を出すことなく乗り切ることが出来た。そうした中、5月8日以降の感染対策緩和を受けコロナ前の生活に少しずつ戻す活動を始めている。家族の面会については事前に連絡を頂き、感染対策を取った上で、3名まで、15～20分位、居室での面会が再開されたことから家族も喜ばれている。また、外出についても少しずつ再開され、今年はバラの季節に中野の一本木公園までバラの見学に出掛け見事な花の競演に利用者も笑みを浮かべ楽しまれたという。更に、7月16日(日)に行われた「小布施ミニマラソン」の際には窓越しでの見学と応援を意図して楽しいひと時を過ごしている。今後も感染状況を見ながら計画を立て、季節の花の見学などを兼ね外出する意向を持っている。更に、日常的にも利用者一人ひとりができることやしたいことを探り、役割としてやっていただき張り合いのある生活を送っていただくようにしている。元気に歌を唄う利用者に優しく接する職員の姿を見て、温かさ溢れるホームであることが感じられた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				